

令和2年度 こども未来部 重点施策の実施結果

達成
状況

S … 目標を上回る結果となった
A … 目標通り達成した
B … 達成したが課題が残っている
C … 達成できなかった

総 括

・第2期菊川市子ども・子育て事業計画に基づき各種事業を実施しました。
・令和3年度の完成を目指し取り組んでいる認定こども園西方保育園の建築工事について計画通り事業が進められています。引き続き保育所等の待機児童の課題を解消するよう努めてまいります。
・放課後児童クラブについては職員の確保などの課題に対し、利用者アンケートや運営形態についての調査を行いました。統一したサービスを提供できることや職員の働きやすい環境を整えることなどを基本に持続可能な運営形態の検討を進めてまいります。
・支援が必要な家庭について、遅れが生じないよう適切な支援を行うため、関係機関と連携し情報共有や支援方針の検討を行いました。
・乳幼児の健康を守る定期予防接種に新たにロタウイルスワクチンが加わりました。関係機関との調整や対象者への周知を確実にしスムーズにスタートすることができました。
・発達に心配のある子どもを市内のどの園でも同じ視点で発達の状況を見極め支援していけるよう、発達支援技術の向上に努めました。今後も保護者が安心して子育てができるよう努めてまいります。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
1	保育所等の待機児童対策 (こども政策課)	保育所等の待機児童の課題を解消するため、既存施設の建て替えによる施設の拡張等により、保育認定子どもの受入れ枠拡大を目指します。	令和3年3月末までに認定こども園西方保育園の建築工事を計画どおり20%完了します。	A	認定こども園西方保育園の建築工事については、令和2・3年度の2か年事業であり、令和2年度については、事業の20%分(鉄骨建方まで)の完了を計画し、計画通り20%分が完了しました。
2	放課後児童クラブの持続可能な運営の検討 (こども政策課)	職員の確保などを含めた課題を解消するため、保護者のニーズに対応した施設の在り方や持続可能な運営形態の研究を行います。	令和3年3月末までに保護者の利用ニーズや近隣市町の運営状況等の調査を実施します。	A	放課後児童クラブの運営状況等を整理し、持続可能な運営を行う基本方針を策定しました。他市町と比較することで公設公営等による運営について整理することができました。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
3	要保護児童対策地域協議会の開催 (子育て応援課)	要保護児童や要支援児童、特定妊婦等へ適切な支援を行うため、要保護児童対策地域協議会(専門部会)を毎月開催し、情報共有や支援方針を検討するなど継続的な支援を行います。	令和3年3月末までに 要保護児童対策地域協議会(専門部会)を月1回開催します。	A	要保護児童や要支援児童、特定妊婦等へ適切な支援を行うため、要保護児童対策地域協議会(専門部会)を毎月1回開催し、情報共有や支援方針を検討するなど継続的な支援を行いました。また、支援が必要な児童や特定妊婦等のケースが増加しているため、支援に遅れが生じないよう、月1回の専門部会に限らず、個別のケース会議を随時開催し、情報共有や支援方針の検討を行いました。
4	ロタウイルスワクチン定期接種の実施 (子育て応援課)	小笠医師会、掛川市、御前崎市等の関係機関との調整を行い、令和2年10月の定期接種化に向けた体制の整備を遅滞なく進めるとともに、対象者に情報提供を行い、ロタウイルスワクチンの定期接種を実施します。	令和2年10月までに対象者に情報提供を行い、ロタウイルスワクチンの定期接種を実施します。	A	小笠医師会、掛川市、御前崎市等の関係機関との調整を行い、10月からの定期接種をスケジュール通り進めることができました。接種ワクチンの種類が増えたことで、接種忘れや誤接種がないよう、今後も赤ちゃん訪問での保護者への周知及び健康相談、乳幼児健康相談等において接種状況の確認を行っていきます。
5	発達支援研修会の開催 (子育て応援課)	市内のこども園等の各園において、同じ視点で発達の状況を見極め、支援していける体制を整備するため、市内各園の保育教諭等を対象に「発達支援研修会」を開催し、発達支援技術の向上を図ります。	令和3年3月末までに発達支援研修会を3回開催します。	A	計画通りに研修会を3回開催し、目標を達成することができました。 次年度も引き続き発達支援研修会を行い、簡易発達検査「KIDS」を実践する具体的な取り組みも含めた研修を実施します。 今後も子どもの発達を促し、保護者が安心して子育てができるよう、関係機関と連携をしながら発達支援事業を計画・実施していきます。